

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26 年 11 月 27 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3472501513		
法人名	社会福祉法人成寿会		
事業所名	グループホーム田口		
所在地	広島県東広島市西条町田口字東子2729-1 (電話) 082 - 425-5757		
自己評価作成日	平成26年11月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3472501513-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3472501513-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島県広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成26年11月27日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"><li>・家庭的な環境のもと又、自然豊かな環境の中、笑顔と温もりを大切にその人らしさをいつでも保てる安心とやすらぎの暮らしを提供しております。</li><li>・様々な季節行事を取り入れて豊かで楽しみのある生活を提供しております。</li></ul>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホーム田口は周囲を田畑で囲まれた日当たりの良い3階建ての建物です。2～3階がグループホームで1階はデイサービスの複合施設です。ホームの広いリビングは全面ガラス窓があり冬季には部屋の奥まで日が差し込み明るく暖かでゆったりしたソファがありゆっくり寛げます。2階のリビングには大きな仏壇があり毎朝お参りする方もあります。建物の中央に広い廊下があり、ここで、運動会やボーリング大会をして楽しんでいます。ホームの理念「家庭的な雰囲気の中で、その人らしく安心した生活を送って頂けるよう支援いたします。」のもとに、その人らしくあり続けられるよう職員が心を併せて支援しています。</p>
--

グループホーム田口

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を玄関口に掲示し職員一同共有しています。	2階・3階それぞれの玄関口に理念を掲示し常に職員が心に留め行動するようにしています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	日常的な関わりがあまりありませんが、地域の行事参加を通じて交流ができるよう努めています。	地域の郷田夏祭りに参加したり亥の子のが回ってきたり地域行事に参加することにより、交流しています。また、専修学校の実習生を受け入れています。	地域との交流が困難な状況がありますが、地域の介護施設として専門性を活かし、交流館を活用し認知症への理解を深める啓発活動などが期待されます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	実施していません。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議にはサービス内容、行事・事故報告を行い今後のサービス内容について説明しております。又、出席者の意見や助言を頂き今後のサービスに生かしております。	運営推進会議は包括・家族・利用者2名・管理者が出席し2ヶ月に1回開催しています。事故報告・利用者の状況・行事計画と報告などを行い、今後のサービス計画を説明しています。出席者から報告について意見や助言を頂き今後のサービスにいかしています。	民生委員が居られないなど困難はありますが、市の担当者・地域の区長・消防署等へ案内し、出来るだけ外部の意見が頂けるよう努められることが期待されます。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	包括センターとの交流はしていますが市との協力関係は書類提出の助言だけとなっております。	包括支援センターとの交流が中心になっておりますが、市担当者には書類提出の際助言を得ています。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員研修会を通じて身体拘束を行わないサービスに努めています。	身体拘束について研修し、身体拘束はしていませんが、徘徊される方もあり、やむを得ず玄関の施錠はしています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員研修会を通じて虐待防止に努めています。		

グループホーム田口

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要時に支援しています。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約・解約時には、家族等の不安や疑問点を伺い、理解・納得を図っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族の面会時や電話連絡する際に、意見・要望を伺うようにしており、面会時にはアンケートをお願いしています。	アンケート箱を設置し、毎月請求書にアンケート用紙を同封するなどしていますが、電話連絡の際伺ったり、面会時にアンケート用紙に記入をお願いしています。面会時には直接いろいろ意見を仰って頂き対応しています。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	役職員との会議の場で職員アンケート等含め検討しております。	2ヶ月毎に法人理事長が巡回し職員の意見を述べる事が出来ます。スタッフの意見や要望を意見ボックスに入れたり、ミーティングで出された意見を巡回時に伝えていきます。車いすの方が利用しにくかったトイレのドアをカーテンに取り換えるなど、職員の意見を積極的に採用されています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	実際の現場に訪問する等して、話をする機会を作っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員個々の状況を把握し、必要な研修を受講できるよう努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	法人内の交流はあります。		

グループホーム田口

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	本人の生活歴や家族状況等を、利用者本人や家族に聞く等して記録し職員が把握できるようにしております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	見学・契約時等に入居されるまでの利用者本人・家族の状況を伺い、家族の思いを共感できるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人の現状を把握し、必要なサービスは何か、見極めるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	出来ることはなるべくして頂き、介護が必要な方でも、職員と一緒にできることがないかいろいろ工夫しております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	情報を共有し、家族と本人との関係を理解する事で、共に本人を支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様にご協力を頂いたり、会話の中で馴染みの人や場所について話をしたり工夫しています。	毎月、法人全体の新聞、グループホームの新聞を送っています。それを見られた知人が面会して下さることもあります。また、利用料の支払いはやむを得ない方以外は振込は使用せず出来るだけ持参して頂き、利用者と触れ合って頂くようにしています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者個々の性格を把握し、必要時には職員が間に入る等して、利用者同士が交流を図れるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	相談があれば、支援している。		

グループホーム田口

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で、個々の思いや希望を聞き出せるよう会話対応を持ち、意向の確認をとるよう努めています。	新しく入居される際、詳しいフェースシートの他、基本情報シート、療養、家族の生活史、暮らしの習慣、食事や入浴などの情報を頂いています。入居されてからは一人ひとりに寄り添い思いを汲み取るようにしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人、家族からの生活歴の確認をしサービスの利用の経過等に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の生活パターン等を把握できるように、日々の状態を記録にしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	家族、主治医、各職員等の意見・課題等の確認をし現状に即した介護計画を作成するよう努めています。	毎月モニタリングを行い、家族・本人と話し合い3ヶ月に1回主治医・ケース担当者・各職員でカンファレンスを実施し現状に即した介護計画を立てています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子を細かく記録し、その記録を参考にしながら、職員間連携し介護計画の見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	その時々本人の状態にあったサービスがあれば検討するよう努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	本人の残存機能を維持していけるよう、支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入居時にホームのかかりつけ医の説明を行い、本人・家族の意思に添って対応しております。殆どの方がホームのかかりつけ医に月に二回の往診を受けています。	入居時にかかりつけ医を確認し本人・家族の希望に沿って対応しています。ホームのかかりつけ医の往診が月2回あり、ほとんどの方が受診しています。歯科は近所にあり、必要に応じて受診しています。	

グループホーム田口

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	利用者の状態で気付き等あれば、看護師に細かく報告し、支持を頂くようにしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の状況等を把握する為、医療機関との連絡・本人面会し連携をとっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族様、医師、各職種職員が細めに連携し方針の共有を図っております。	重度化や終末期の対応について書面で確認し、急変された場合かかりつけ医の指示を仰いでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	内部研修を通じて緊急時の対応方法は確認をとっております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練を年2回以上行っています。運営推進会議等で地域の方にも協力していただけるよう話をしています。	避難訓練は年2回以上行い、1回は夜間想定訓練を行っています。	年に1回程度は消防署の直接指導を受けられるよう、消防署にお願いしてみられるよう期待します。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	言葉かけや対応については、日頃から職員間で注意し、個々が意識を持って行うよう努めています。	トイレ誘導や入浴支援について、人格を尊重した言葉かけや対応について日頃から研修し、プライバシーを尊重した対応をしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者とのコミュニケーションを大切にし、可能な限り本人の意思を尊重し対応しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	今までの生活環境や、生活パターンが異なる為、その事を理解した上で、利用者本位の生活の流れを大切に対応しております。		

グループホーム田口

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の意向を確認しながら支援しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	管理栄養士と連携をし、利用者の好みも反映できるよう努めております。又、盛り付けや片付け等も声掛けをし、一緒に行える環境をつくっております。	管理栄養士が食材を用意しホームで調理しています。たこ焼き、どら焼き、おはぎ、団子など手作りのおやつを作り、食の変化を楽しむようにしています。クリスマス会や互礼会など季節の料理を楽しんだり、お弁当を持ってお花見などを行っています。元気な方で下膳のお手伝いをする方もあります。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	医師との確認をとりながら個々の食事・水分摂取量がわかるように記録をしています。その日の体調に応じた食事形態も行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	利用者個々にあった口腔ケアを毎食後行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	可能な限り、トイレでの排泄を促しています。必要時には医師に相談しております。	排泄の記録をこまめにとり、日中はおしめをしなくてトイレ誘導しています。夜間は尿量によって対応しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	医師・管理栄養士と連携をとり個々に応じた予防に取り組んでおります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	可能な限り、本人の希望に添えるよう努めております。	入浴前には、必ずバイタルチェックを行っています。入浴時間は本人の希望に応じ、週2～3回は入浴されるようにしています。入浴嫌いな方には、職員がいろいろ言葉をかけ入浴して貰っています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	生活環境や体調を把握し、その時の状況に応じて休息できるよう環境を整えております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	内服薬の効能や副作用等は処方箋を確認したり、指示を頂きながら症状の変化の確認を細目に観察しています。		

グループホーム田口

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	本人の意向を重視し、習慣や趣味等を行って頂くため必要な物品を準備したり、作品等を飾るなどして本人の意欲を引き出すよう努めております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の意向を確認しながら、支援に努めております。又、四季折々の行事計画を立て可能な限り外出する機会を設けております。	暖かい季節にはホームの周辺を散歩したり、県民の浜や芋ほりに出かけたり、仏参会や敬老会へ参加したりします。歩けない方はドライブに行き外出を楽しんで貰っています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力にに応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	希望があれば、お金を所持していただいております。行事計画等で使えるように支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望があれば、電話をかけたり、手紙のやり方が支援できるようにしております。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用者が安心して、ゆったりと過ごして頂けるよう環境面には配慮しており、季節の物を一緒に手作りしたり飾ったりしております。	南は全面ガラスで部屋にたっぷり日が差し込みとても明るく、ゆったりしたソファがあります。玄関には利用者さんの手芸や折り紙などの作品が沢山あります。壁には新聞や写真が貼られています。2階の居間には大きな仏壇が置かれ毎朝お参りする方もあります。建物の中央の広い廊下を利用して運動会やボウリング大会など実施しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居室が全て、一人になれる空間があり、リハビリにはソファが設置してある為、気のあった利用者同士でくつろぐこともできます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	今までの生活空間に近づけることで安心感を与えることができるため、今まで使用していた生活用品等は、家族や本人と相談しながら、持ち込んで頂いています。	これまで家庭で使用していたものを持参したり、写真や鉢植え、人形や手作り作品を飾っている方もあります。居室の中の配置は自由でベッドも使い良い方向におかれ家庭との暮らしの違和感がないよう工夫されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	少しでも残存機能を維持していけるよう、トイレや浴室には手すりがついており、すれ違う時に接触しないように廊下のスペースが広がっています。		



グループホーム田口

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

グループホーム田口

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム田口

作成日 平成 26年 11月 10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	活気ある生活	利用者個々に趣味を見つけて取り組んでいた。	会話等の中で趣味を引き出し取り組む	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。